大正５年５月５日木藤精一郎創立

やまゆき会会報

平成３１年２月号

例　会　報　告

<u>六甲山地：　蓬莱峡～座頭谷</u>　上級Ｃ

12 月 2 日（日）　晴　担当：松川元信　参加者 12 名

阪急バス宝塚バス停（舟坂経由有馬温泉行）に集合、乗車しました。知るべ岩で下車して蓬莱峡に向い、広場で点呼・準備体操をしました。ここで、今冬の雪山に備えてアイゼンの着脱、歩行訓練を行いました。私達以外の３グループが既にアイゼンワークの訓練を始めていました。そのレベルは初級からアルパインと様々でした。終了後にツェルトの初体験の方に、シートの中に入り暖かさ具合を体感して頂きました。登山開始前に、地形図の拡大版を配布して今日のコースを説明しました。行動途中での読図学習（現在地確認）をすることも説明しました。今回のコースは六甲全山縦走路までの間にはルート案内標識は有りません。蓬莱峡での訓練に 2 時間を費やした後、登山を開始しました。剣山の山腹を巻きながら座頭谷を渡渉し、知るべ岩から登る登山道に出合いました。ここから座頭谷の左岸を登り、途中で幾度か参加者と地形図で現在地の確認をしました。

最大の高低差のある堰堤を越えた広い河原で昼食をとりました。谷の周囲は紅葉が鮮やかで過ぎゆく秋を満喫できました。道迷いしそうな河原を更に登り樹林帯が迫る所に着きました。休息後に樹林帯の急坂を登りハニー農園に着きました。六甲全山縦走路を目指して、661mピークの山腹を四分の三周するように登下降して縦走路に出合いました。縦走路を西に向け登り本日の最高点 700mを越えて船坂峠につきました。休息後に船坂の標識を囲んで集合写真を撮りました。ここから清水谷を下り船坂の集落に出て、船坂橋の阪急バスのバス停で解散しました。

これからも楽しく安全な登山をするために、弛まずに基本訓練を行い会員の皆様と共に自分を守る術を身につけたいと思いました。

コースタイム

阪急バス宝塚バス停（8:20）＝知るべ岩バス停（8:53）～蓬莱峡（9:00-11:00）～座頭谷登山道出合（11:18）～座頭谷（11:45-12:15）～ハニー農園（13:07）～今上天皇御成婚記念石碑（13:50）～六甲全山縦走路出合（14:00）～船坂峠（14:15-14:25）～清水谷登山口（14:50）～阪急バス舟坂橋バス停（15:10）

京都西山：　天王山山麓史跡めぐり　入門A

12 月 2 日（日） 晴 担当：中村彰利 参加者 28 名

台風 21 号により天王山登山道が全コース通行禁止のため、コース変更の了解を得て阪急大山崎駅前を 3 班に分け出発。天王山登山口を右に進みアサヒビール大山崎山荘美術館入口から広大な庭園に入る。紅葉は真っ盛りでゆっくり鑑賞する。皆さん満足されたようで良かった。美術館入口に戻り、右の急坂を登りきると宝積寺に出る。参拝をすませ写真をとる。次に山崎聖天への「竹のこみち」を歩いたが、途中伐採作業に出合い残念ながら美術館入口へ引き返し、JR山崎駅へ下る。ここからは史跡めぐりとなり、先ず駅前の離宮八幡宮に立寄る。油座の歴史を説明し、すぐの西国街道沿いの関大明神社へ進む。ここは京都（山城の国）と大阪（摂津の国）の境で関所「山崎関」があった場所だ。次にJR線路下のトンネル道をくぐり北へ急坂を登る。高台には特養施設等があり、少し下って椎尾神社に到着。紅葉も美しい静かな日だまりで昼食をとる。

午後はサントリー山崎蒸留所の中でトイレ休憩とさせてもらう。線路脇の道路を西へ進み、水無瀬の滝をめざしたが新しい住宅地の中で道に迷い心配をかけました。やっと目的地に到着、水量は少ないが細く美しい滝だった。次の水無瀬神宮へ向う途中、水無瀬川緑地公園で休憩をとり、南へ線路を渡ったところが水無瀬神宮だ。神宮は後鳥羽上皇の離宮があったところで、名水百選に選ばれた「離宮の水」で有名。再度西国街道に戻り西へ歩く。程なく史跡「桜井駅跡」に到着。予定より早くついたので、地元ボランティアガイドから太平記の楠木正成・正行の説明を聞き「青葉しげれる桜井の・・・」の歌を皆で唄う。JR 島本駅で乗車する人を見送り、阪急水無瀬駅まで歩き解散する。

当初、登山道通行禁止の連絡を受けたので例会中止も考えたが、是非美術館庭園の紅葉を見てほしかったので史跡ウォークとして実施した。幸い天候にも恵まれ楽しいぶらぶら歩きが出来て良かった。

コースタイム

阪急大山崎駅(10:05)～アサヒビール大山崎山荘美術館庭園(10:20-10:40)～宝積寺(10:50)～竹のこみち～JR 山崎駅(11:10)～離宮八幡宮～関大明神社(11:20)～椎尾神社(11:40-12:10)～サントリー山崎蒸留所 (12:20)～水無瀬の滝(12:50-13:00)～水無瀬神宮(13:30-13:40)～桜井駅跡(14:00-14:15)～阪急水無瀬駅(14:25)

生駒金剛紀泉山地：府民の森・ほしだ園地からむろいけ園地　初級 B

12 月 8 日（土）　晴れ　担当：疋田正紀　参加者 8 名

JR河内磐船駅前に集合。天気予報通り今季一番の寒さではあったが、天候は良好で晴れている。駅から星田妙見宮参道を経て星田妙見宮へ。ここで一気に約三百段の階段を登って本殿に参拝した。眼下に河内方面の展望を望めた。空気が澄んでいるので遠くの建物がより近くに見える。ここから整備された道を歩き府民の森「ほしだ園地」へ入る。やまびこ広場にて休憩の後、落ち葉の多いよく整備された遊歩道を歩くが、適度のクッション性もあり心地よい。小川のせせらぎや各所に木橋もあり散策を楽しむ。

飯盛霊園手前の高台にて昼食後、旧国道 163 号線、清滝峠茶屋跡を経て「むろいけ園地」へ。計画では、堂尾池を巡る予定であったが 9 月の台風の影響で通行止めとなり、本コースに変更せざるを得なかった。森の工作館にて展示や子供達の木の実クラフトを見学。ここから蟹ヶ坂ハイキングコース、御机神社前、四条畷神社前を通って、四条畷駅前にて解散。

蟹ヶ坂ハイキングコースでは、素晴らしい落ち葉の絨毯の上を歩いた。本コースは大部分が自然歩道で高低差も適度にあり、天候にも恵まれ、まだ紅葉も残っていて快適な散策となった。

コースタイム

JR河内磐船駅(9：20)～星田妙見宮（10:05-10：35）～ほしだ園地入り口（11：07）～やまびこ広場（11:12-11：17）～飯盛霊園（11:45-12：30）～清滝峠茶屋跡（13:10-13：20）～むろいけ園地・森の工作館（13:40-13：50）～御机神社前（14:30）～四条畷神社前（14:40）～JR四条畷駅（14:50）解散

生駒金剛和泉山地：　金剛山　初級 C

12 月 9 日（日）　曇り　担当：北川隆史　参加者 9 名

担当者が怪我で担当できなくなったため急きょ代行を引き受けた。元の計画で登る予定だった岩谷コースが立ち入り禁止になっているので、コース変更をどうしようか迷っていたところ、金剛山に詳しい鶴身さんのアドバイスで細尾谷を登ることにした。

細尾谷出合いで、このコースを下ってきた登山者に道の荒れ具合を尋ねると、全く問題のない歩きやすいコースだったとのことで、安心して谷を登り始めた。谷の出合いは大きな滝になっていて、左岸の岩場を登って谷に入る。何度か渡渉しながら、気持ちの良い谷筋を登って

行くと二つ目の滝があった。霜柱が目につくが、登るにつれてサイズが大きくなっていくように感じた。途中休憩を入れて約 1 時間で山腹の遊歩道に出た。

遊歩道を進むと、木々が霧氷に白く覆われた美しい景色が広がっていて歓声があがる。山頂広場の展望台から眺めると一面霧氷に覆われて、さながら吉野の桜を見るような錯覚を覚えた。12 月初旬でこれほど見事な霧氷が見られることは稀だとのこと。集合写真を撮り、食堂の前あたりに戻って昼食タイムとする。

来た道を戻り、岩屋文殊への分岐に入り、しばらく歩くと文殊尾の尾根道が分岐する。尾根を下り始めると周りの木々に山上で見たような霧氷は全くないことに気づく。この尾根は 1 時間ほどでバス乗り場まで下れる最短のコースであるだけに、登るのはかなりキツイと思うが、それでも何人もの人が登ってくるのとすれ違う。舗装された坂道に出ると間もなくバス停で、トイレの前で解散とした。

コースタイム

金剛山ロープウェイ前バス停(9:20-9:30)～百ヶ辻～細尾谷出合(9:50-9:55)～遊歩道(10:55)～金剛山山頂広場(11:15-11:50)～文殊尾分岐(12:00)～金剛山ロープウェイ前バス停(13:00)

納め登山　生駒金剛和泉山地：大阪府民の森　なるかわ園地（ぼくらの広場）

初級 B

12 月 16 日（日） 晴後曇 担当:岸本眞理 参加者 25 名

今年の納め例会なのに、天気予報の雨マークがとれずヤキモキする数日を過ごしていたが、当日は山の神様がご褒美を下さったのか晴後曇の予報に変わり嬉しくホッとした。

定刻に出発し、枚岡神社参道で準備体操、参加者確認、コース変更の了解をすませた。例会予告の神津嶽コースは昼食時まで殆どが階段の上りになるが、摂河泉コースだと赤い橋までは緩やかな坂道で川のせせらぎや小鳥のさえずりが聞こえるのどかな山道で枚岡山展望台までつながっているのが分かったからだ。歩き始めると赤や黄の名残の紅葉道に改

めてコース変更して良かったと心地よく展望台に到着した。晴れたお蔭で、遙か六甲山のやまなみや正面には来年に開催予定のラグビー世界大会々場の花園ラグビー場が一望でき、ひと時の休息で寛いだ。この先は階段の多い登り道になったが、ひと踏ん張りしたお陰で予定より 20 分も早く昼食場所に到着できた。ここは 360 度の展望広場、風もなく寒くもないので草原に座り、透き通るような青空や不思議な雲を眺め、のんびりランチタイムを楽しんでいると「おーい！リーダーどこや！」の声にハッと我に返ったら集合時刻 2 分前だ。既に多くの人が写真を撮るために集まっておられたので恐縮してしまった。

午後は趣が変わり日差しのない雑木林の下り道。特に慈光寺へは旧道を歩くので濡れた赤土や苔むした地道を滑らないように注意して歩を進めた。ここは役行者ゆかりの寺で開山堂（旧本堂）には 36 歳の自作像が祀られているらしい。この先は整備されたハイキングコースだが、歩く先々で大木のサザンカが赤、白、桃色と見事に満開で目を和ませてくれた。最後の休憩地には予定より早く到着でき、ゆっくり展望。「甘いものをどうぞ」と出されたお手製の「かりんとう饅頭」の差し入れの小豆餡がご褒美のように疲れた身体に心地よく染み渡った。休憩の度にお菓子や果物をいただき、ゆとりをもって「納め登山」を遂行でき感謝の気持ちで胸がキュンとなった。解散地まであと少し、見事な紅葉を愛でながらのんびり歩いた。

コースタイム

近鉄奈良線枚岡駅（9:30）～枚岡神社（9:35-9:49）～摂河泉コース・赤い橋（10:12-10:18）～枚岡山展望台(10:32-10:41)～神津嶽コース・神津嶽頂上　枚岡神社（10:48-10:52)～胸突き八丁（11:13-11:18）～ぼくらの広場・昼食(11:41-12:18)～暗峠(12:38)～髪切山慈光寺（12:56-13:12）～枚岡公園中展望（13:57-14:18）～近鉄奈良線額田駅(14:50)

平出雄子さんの追悼文

平出雄子さんを偲んで　　中村彰利

ベテラン山女で、山登りにはうんちくがあったと思う。例会担当も京都北山にこだわっていた半面、妻とも仲良くしてもらい、湖山さんと 4 人で夏の伊吹山へ何度も夜間登山しました。

一方、入会当初から、会報の編集・発刊に故阪下悦子さんと中心的役割を担ってくれました。学校の先生をなされていた関係からか、文章には厳しかったようです。そのお陰で当会の「例会報告」は大阪岳連の中でも光っていたと思う。とは言え山岳会にも大きな時代の変革があり、小生同様「情報技術」に弱かった貴女は、近年さびしい思いをされていたと推察します。

個人的にも気心が合い、多くの楽しい登山の想い出をつくっていただき、又例会担当・会報編集委員・委員長・副会長と当会に対する功績は大変大きかったと思う。深く感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

平出雄子さんを偲ぶ　　豊政典子

もう 4、5 年前になるでしょうか。私が「湖北・賤ヶ岳辺りを歩きたい」と言った時、「桜の頃に大谷さんも誘って行こうよ」と約束したくれましたね。お互いにその内にと思いながら、あなたは急に逝ってしまわれ悲しくて残念でなりません。

思えば平成 14 年から 20 年頃にかけて、薬師岳・五色ヶ原・五竜岳・鹿島槍ヶ岳、餓鬼岳・燕岳、南岳・北穂高岳、白馬岳、八ヶ岳など、私の夏山例会には毎回参加して下さり、個性あるあなたの口からは時々辛口の言葉もとび出し、いつも面白いなと思っていました。

平成 17 年に企画した南岳～北穂高岳はキレットの通過が心配だったらしく、「私でも行けますか」と聞かれ「行けるか行けないかではなく、本当に行きたいかどうか、その上で行こうと思う気持ちが大切」と私は答えました。そしてあなたは参加して下さり無事北穂高岳に着いた時、満足の握手を交わし、リーダーとしての幸せを味わいました。

又、東海道の第 1 回目箱根・三島間を歩いた時、富士山のみごとな眺めに歓声をあげていたあなたも忘れられない姿です。共に登った沢山の山の想い出が今も私の心を豊かにしてくれています。

ありがとう平出さん。安らかに眠って下さい。　　合掌